

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 藤暢会 全体

令和5年度は、長引く新型コロナウイルスが5類移行となりましたが、5類移行後も、職員一丸となり、高齢者介護、医療、保育の各サービス利用者を感染リスクから守る努力を続けました。新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザが猛威を振るうなど感染症対策に悩まされた1年でした。

事業収支上では、物価高騰の影響は大きく、生活インフラに関わる費用をはじめとし、運営に必要な生活必需品の高騰は、全ての品目にのぼりました。

高齢者介護事業において、感染症対策に注力していましたが、入居者様・職員に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生し、令和5年9月、令和6年2月に、止む無くショートステイの受入れを中止し対応する事態となり、ショートステイの稼働率の低下要因となりました。

津山クリニックは、ワクチン接種の減少もあり、1日当たりの来院患者数平均が、前年比2.3%低下しましたが、多様な診療科目の医療提供により、地域医療貢献を果たしています。

東和ほほえみ保育園岡山においては、新型コロナウイルス5類移行後、活発化する園の行事に、感染症対策を実施しながら対応し、計画通り実施することができました。保護者の皆様から、普段の園の様子が垣間見られ安心したとのご意見を多く頂いています。

今後も、法人全体のリスクマネジメントに取り組み、業務改善、健全経営を行っていきます。

法人本部

- (1) 定期理事会・評議員会の開催。
- (2) 法人運営会議の運用により、各拠点と経営との情報共有を行いました。
- (3) 行政、関係機関との連携強化を図り、円滑な法人運営に努めました。
- (4) 税理士法人との情報交換、共有により法人の財務健全性強化を図りました。
- (5) 法人ホームページによる積極的な情報開示に努めました。
- (6) ハローワークや各学校と連携し、職員確保に向けた活動を強化しました。

特別養護老人ホームあかり

あかりの基本理念である「常に進化し続ける施設です」の再構築の基

- (1) 施設・スタッフ・サービスの改善やレベルアップに重点をおきながら、令和5年度はコロナウイルス5類移行となりながらも、感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、また、入居者様及び利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。
- (2) 津山クリニックや地域医療機関と連携し、入居者、利用者、職員の健康維持と健康管理の充実を図り、「医療・介護・介護予防・生活支援」の総合サービスを提供することができました。
- (3) コロナ感染症が5類に移行されましたが、新規入居時や、新規ショートステイ利用時の抗原検査を引き続き実施しましたが、9月にコロナウイルス感染症は入居者様に初めて2名の感染があり、また、2月に6名の入居者様の感染がありましたが、皆様、重症化することなく回復されました。また、インフルエンザ、他感染症について感染者はゼロを達成しています。
- (4) 勝央町内5社会福祉法人で活動する、「勝央町福祉ネット金時」との連携により、地域包括ケアの構築を目指し、特に地域の小学校で福祉体験講座を開き、高齢者疑似体験を行いました、また、災害ボランティアの確立のため、地域貢献活動を行っています。

津山クリニック

- (1) 基本理念である『地域に寄り添う保健室』を継続目標として取り組み、他医療機関とも連携しつつ、医療福祉サービスを地域に提供しました。
- (2) 多様な診療科目の医療提供に取り組み、地域貢献を果たしました。
- (3) 津山市医師会からの要請に答え、当番医制度への対応により、地域医療福祉に貢献しました。

東和ほほえみ保育園岡山

- (1) 「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」を保育理念とし、地域の子育てをサポートし、地域の働きやすい職場環境創りに貢献しました。
- (2) 看護師1名を配置し、体調不良児保育の実施、延長保育の実施等、多様な保育ニーズに対応しました。
- (3) 安全対策委員会により、毎月のヒヤリハットを検証し、事故防止に向けてのルール作りや環境改善を行い、全職員に周知徹底を図りました。

(4) 感染対策委員会を開催し、園内の感染対策について検討し、ルールや環境改善策を全職員に周知徹底し、園内の感染症予防に努めました。

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人藤暢会

法人本部

概要

新型コロナウイルスが5類移行となった令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けました、特養あかりでは感染が拡大し、ショートステイの受入れを2回停止する厳しい事態となりました。

新型コロナウイルスや各種感染対策として、当社会福祉法人藤暢会では、サーモグラフィー検温や、手指消毒、利用者・職員への定期的な抗原検査の実施等、考え得る限りの徹底した感染防止対策を実施しましたが、感染拡大を抑えることができなかつたことが大変悔やまれます。

感染拡大の発生を教訓とし、難しいことではありました、徹底した感染防止施策を行いながら、各種年間行事や面会再開等を行いました。

新型コロナウイルスの2類相当から5類への移行を受け、中止されていた行事の再開や経済活動が活発化する中、全力で各拠点の後方支援を行っています。

令和5年度重点課題と対応状況

① 5類移行後の新型コロナウイルス対応

各事業拠点における感染対策、対応を踏まえつつ後方支援を行いました。社会活動が活発化する中、求められる支援対応を検討し、限られた人員の中ですが活動を行いました。

また、介護サービスの向上に繋がる効率化、簡素化を進め、介護ソフト「ほのぼの」にソフトを更新し、効率化と職員の利便性向上に努めました。

各種感染症の感染・蔓延状況を踏まえ、人材獲得手段としてオンライン人材採用媒体の活用にも着手しました。コスト低減にもなり、今後も進めていきます。

次年度に向けて、効率的、効果的な後方支援を行っていきます。

② 2024年介護報酬改定

安定した法人施設運営には、財務基盤の確立が必須要件となります。介護報酬改定による影響を調査検討し、対策を講じる行動を行っています。

効率的な資金管理により、安定した法人運営に注力し、各拠点で発生する様々な資金ニーズに対応を行いました。今後も調達、運用のバランスを図りつつ安定した資金管理を行っていきます。併せて、寄付金募集強化を図っていく方針です。

財務の健全性を強化するため、税理士法人との連携、金融機関との関係強化につと

めていきます。透明性が求められる社会福祉法人の、財務面の健全化に注力していきます。

法人本部運営状況

理事長、業務執行理事を中心としたガバナンス強化への取組を図りました。公共性の高い社会福祉法人運営には、組織運営の強化は必須と考えるものです。

地域連携として、行政、関係各機関との連携を強化し、円滑な事業運営に注力してきました。また、社会福祉法人としての責任を全うするため、各機関との連携、調整を更に強化していきます。

今後の法人本部運営

① バックオフィス（後方事務）強化

- ・2025年問題・2040年問題への対応（人材確保）

国民の3割が高齢者となる2025年問題を来年迎えます。2040年には高齢者がピークを迎え2040年問題としてクローズアップされ、労働者確保に苦慮すると言われています。すでに労働者確保がままならず、廃業・倒産に至る企業や業態も出始めています。法人の存続には職員確保は必須問題です。来る2025年問題、2040年問題に向け、安定した職員確保に向けた施策を検討・実施します。

- ・労務管理の徹底
- ・業務分担の再構築

② 財務の安定

長期的に安定した法人運営のための財務基盤の確立を目指し、収支管理を強化し効率的な資金運用を図ります。

- ・全拠点の事務経理職員による収支や、経営状態の把握の徹底。
- ・コスト意識の強化、上昇。
- ・法人本部を主体とした、寄附金収入の募集強化。

③ 福祉サービス品質の強化支援

各拠点で提供する福祉サービスの品質をチェックし、改善・向上が出来るように支援を行います。

- ・ヒヤリハット、苦情要望等の吸い上げによる各拠点支援。
- ・各事業拠点での事故発生を抑止するための、リスクマネジメント強化。
- ・県北部の大学、専門学校、高校への採用活動の推進。
- ・職種、役割等で求められる能力、資質向上に向けた研修棟の受講推進。

令和5年度 事業報告書

特別養護老人ホーム あかり

事業環境を見据えた人材の確保については引き続き課題も残しながら、特養、ショートステイ共に安定した事業運営に努めました。ＩＣＴ機器による業務技術改善から得る介護職員の効率的生産性の向上については、先ず現場におけるタブレット機器導入を図ることができ、各セクションにおける連携のデジタル化を行いました。

また、甚大なる水害、地震災害や5類へ移行となったコロナウイルス感染症等の感染に対し、持続可能な介護サービスの提供ができるよう、定期消防・災害訓練やＢＣＰ構築を行い、関係機関等連携し、施設の運営に備えることを責務として取り組みました。

そんな中でも、認知症予防や健康で生活のできる高齢サービスを充実させるとともに、あかり拠点では『医療・介護・介護予防・生活の支援』を令和5年度も総合的に提供することができました。

この作州・勝央地域において包括的に対応できる質の高い施設ケアの提供や、地域における『共生社会、自立支援、重度化防止』が地域における高齢者、一人一人の暮らしや生きがいになるように、必要に応じた受入れの対応や、温かい施設づくりを職員全員で継続し取り組みました。

1. 事業計画

● あかり基本理念4項『常に進化し続ける施設です』再構築の基

施設・スタッフ・サービスの改善やレベルアップに重点をおきながら、令和5年度はコロナウイルス5類移行となりながらも、感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、また、入居者様及び利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。

① ＩＣＴ(情報通信技術)機器の導入について

- ⇒ 情報通信技術機器は導入することができましたが、ロボットの導入の検討を図りましたが、加算取得については体制の確立ができず未取得となりました。
- ⇒ 人材不足への対策及び業務効率化については、介護職員の負担軽減を図りながらも、介護ケアの質の向上を図りながら、適材適所への職員の補充は課題となりました。

② 介護人材の育成・確保・職員の資質向上・介護サービスの質の向上

- ⇒ 介護福祉士実務者研修の実習施設として感染防止徹底の上で研修を継続し地域福祉

を担う人材育成や輩出に貢献しました。（8月～12月開催）

- ⇒ 認定特定行為業務従事者研修開催を施設看護師と連携し施設職員の取得増を目指しておりますが、令和5年度は受講無。（現7名取得）
- ⇒ 施設介護福祉士から介護支援専門員資格取得を応援→ケアマネ受験サポートの新設受講1名。
- ⇒ ユニット・リーダー研修取得新規1名→結果受講無
- ⇒ 防火管理者資格取得目標2名→結果受講無。
- ⇒ 各職種によりZOOM研修等に各部門から参加→結果会場受講可能な範囲で参加にためZOOM研修は少數のみとなりました。

2. 介護報酬改定の対応と職員処遇改善により経営の効率化

- ⇒ 1. 介護報酬改定新規加算取得については適合する加算は取得し、令和5年度中に取得予定としていた特定処遇改善加算取得については未取得となりました。尚、新たに小規模特定処遇改善加算取得の取得を検討としました。
- ⇒ 2. 介護職員ベースアップ等支援加算を取得し、介護職員並びに各部門職員に処遇改善を行いました。

3. 安全管理対策

年2回の避難誘導、消火訓練を自衛消防において実施しました。また、地元自治体の福祉緊急避難所としての準備をしております。

- ⇒ 災害BCP定期訓練の実施、避難確保計画に基づき水害、地震のBCP訓練を行いました。（自衛消防水害想定垂直避難訓練実施）
- ⇒ AED及びタッピング法蘇生訓練の実施（職員救急救命士指導）→AEDはコロナ5類移行後から年度内に施設内コロナ感染が2回あり、訓練実施時期が図れず両訓練共に中止としました。
- ⇒ 感染BCP定期訓練の実施を行うことにより、2回のコロナ感染時に訓練の成果があり拡大を防ぐことができました。

4. 介護保険の安定的運営を行う。（介護サービス利用支援）

多様な医療・福祉・介護相談に対応するため、高齢者でも独居高齢者や要介護者が増加する中、『認知症予防、自立支援、重度化防止』の防止策として、多様な専門スタッフによる相談窓口の充実を図り、『地域の声・悩み・相談』に手を差し伸べる施設計画でしたが、コロナ5類移行後において、新たに2回のコロナ感染が施設内に発症あり、感染拡大防止のため時期を図ることができず、専門職の公益相談会は中止としました。

5. 関係医療機関との連携及び感染対策

- ⇒ 津山クリニックや地域医療機関と連携し、入居者（嘱託医定期回診）、利用者、職員（定期健康診断実施）の健康維持と健康管理の徹底に努めました。
- ⇒ 歯科による定期訪問診療及び指導に基づく日常の口腔ケアの実施に努め、誤嚥性肺炎の防止に力を注ぎました。
- ⇒ 特に新型コロナウイルス及びインフルエンザについては、新規入居時や新規ショートステイ利用時は抗原検査の継続を行い、安心・安全を確保した上で利用をいただきました。
- ⇒ 職員も同様に施設指示の抗原検査や私用による抗原検査を必要に応じ行い、安心・安全を担保し職務に就くことを継続しました。

6. 栄養の管理

- ⇒ 食事の内容及び提供の方法は、食事摂取基準を満たす献立になるよう委託業者と協力し定期での給食会議や厨房ミーティングにおいて、食事の形態を密に相談し、入居者、利用者様の食事の内容や栄養の充実に注力しました。
- ⇒ 常に情報を共有し改良を繰り返し行いながら入居者、利用者様に安心安全で生活習慣病予防や改善となるよう、心から満足いただける食事を提供しました。
- ⇒ 嗜好調査を実施しその評価分析を用いて利用者様の要望に合った食事を提供するように心掛け、誤嚥事故防止にも注力しました。
- ⇒ L I F E （栄養マネジメント強化加算）の取得に基づき、入居者様の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的に実施することができました。
- ⇒ 衛生的な厨房環境の整備に配慮し、特に食中毒の発生やコロナ感染症のリスクの回避に努めました。

7. 機能訓練

- ⇒ 看護職員により、個人の状態に適した機能回復訓練を実施し自立支援、重度化予防に役立てました。
- ⇒ 介護職員により日常生活上の体操、機能訓練やレクリエーション、認知機能減退予防のための訓練等を実施し重度化防止の訓練にも役立てました。

8. 入居者・利用者への処遇について

- ⇒ 満足度アンケートを継続的に2回/年実施し、C Sの結果を運営改善に活かします。アンケートについては未実施のため実施できるアンケートを検討しました。
- ⇒ 家族様と各専門職や看護職、介護職による多職種間ケアカンファレンス等の情報共有がなされる場をアポイントにより定期に作り、円滑なコミュニケーションを図り続

けます。

家族様とのアポイント取得については感染状況及び流行によっては中止とし、電話、お手紙にて報告、連絡、相談を密にとり健康状態を報告しました。

9. 地域交流、ボランティアの活用（コロナ、インフル感染状況により中止）

⇒ 学生及び各種ボランティア（園芸、傾聴、メイク、園芸、習字、俳句、リトミック）については感染状況により中止とし、職員の知恵と協力により変化のある催事を開催し、入居者・利用者の自立支援を目的とし参加の喜びを健康維持につなげました。

10. ユニットケアの確立と特養・ショートステイの効果的活用の推進

⇒ 特養、ショートステイの意義と効果については、地域の在宅介護者に広く周知し、介護上の課題解決のためにあかりを活用していただきました。
⇒ 各事業所等へ長期的な予約の利用を推進することにより、ショートステイについてもロングショート利用までに幅広く対応しました。（新規受入時はコロナ及びインフルエンザの感染防止対策を徹底しました）

11. 情報発信・共有・広報啓発

⇒ ホームページに取り組みや各種行事の状況を紹介すると共に、福祉施設としての情報開示を行いました。また、家族様への新型コロナウイルス及びインフルエンザに関する情報、また、面会に関する取り組みや、月間レクリエーション行事結果等について定期案内にて実施しました。
⇒ 感染対策の一環としてタブレット等の活用によるオンライン面会を継続しつつ、感染状況を加味しながら対面面会やガラス越し面会へと移行しました。コロナウイルス及びインフルエンザ感染状況に対応した面会方法でご家族様に安心を提供させていただきました。
⇒ 岡山県の情報公表システム等を活用し、積極的な情報公開をすることで施設経営の透明性を図りました。

以上、リスクマネジメントの強化など中長期的な重要課題への対応を含め、令和5年度事業はアフターコロナを見据えながら、社会経済の回復とともに入居者、利用者、地域の潜在的な需要のある人々のあらゆるニーズに対応できるよう努めました。

今後、コロナ5類移行後も終息の目処が見えない感染症の感染予防を徹底しつつ、あかり高齢者介護事業を活気的に推進します。

2. 年間行事及び各種委員会

研修についてはコロナ5類移行に伴い、オンライン研修に加え感染状況を確認しながら、会場参加が可能な場合は状況に応じて研修に参加しました。また、行事・イベ

ントについても近隣の感染状況を確認しながら、様々な工夫や感染防止対策を徹底した上で、各ユニット単位で開催しました。

(1) 年間レクリエーション行事

行事	内容等
4月 お花見会（桜）	あかりお花見 ⇒弁当感染防止を徹底し各ユニット又地域交流の活用にて開催
5月 春ドライブ	近隣ドライブ、自宅支援 ⇒可能な範囲で可能な入居者様対象に実施
6月 運動会	各ユニット運動会 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
7月 七夕会	各ユニット短冊設置、七夕三色そうめん ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
8月 夏まつり	各ユニットゲーム、駄菓子屋台開設・祭食事 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
9月 敬老会	各ユニット高齢敬老表彰、記念品贈呈 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
10月 収穫祭・秋ドライブ	近隣ドライブ、買い物、自宅支援 ⇒可能な範囲で可能な入居者様対象に実施
11月 文化祭	作品作成、展示、あかり喫茶/お茶会の開催 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
12月 クリスマス会	各ユニット開催、ケーキ作り、Xmasプレゼント ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
1月 新年会	各ユニット新年挨拶、お雑煮、ぜんざい ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
2月 節分祭	各ユニット開催豆まき、鬼退治 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
3月 ひな祭	各ユニット開催お雛様展示、おやつ作り ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催

(2) 各種委員会及び会議

●メンバー構成●

施設長、看護・介護職長・介護長、看護主任・ケアマネ主任、生活相談員、管理栄養士、各ユニット・リーダー、介護スタッフ、事務主任

各委員会においてメンバー構成し定期開催を行いましたが、委員会、会議、研修の

開催は、その開催時期の近隣のコロナ感染状況を確認しながら開催し、また、開催中止とする場合は書面による議決を行いました。

●各種委員会及び会議実施状況

会議の名称	実施状況	会議の主な議題
・カンファレス・朝礼	毎朝	・入居者、利用者当の状況確認・ショート利用確認・業務、行事報告、連絡事項・情報交換・等
・運営委員会	第1、3月曜/月	・随時施設の課題、要望、重要事項等の施設の管理運営に関する事
・職員連絡会議	第1月曜/月	・毎月時の報告事項、課題事項の提案、立案等の検討
・リーダー会議	1回/月	・看護、介護、支援相談全般、給食等に関し課題、要望事項等
・感染防止対策委員会/研修	1回/月・4回/年	・感染症等対策を検討、感染症知識のレベルアップ等
・ヒヤリハット報告検討会	第1月曜/月	・危険内容の確認、ヒヤリハット共有等状況報告、対策立案等
・事故防止検討委員会/研修 ・安全対策委員会/研修	第1水曜/月 随時 研修2回/年	・各ユニットで検討された事例に基づき、事故防止対策を検討、併せて研修も実施、施設管理 ・災害防止・訓練
・褥瘡予防対策委員会	4回/年・随時	・褥瘡予防の対策の検討及び研修
・身体拘束廃止委員会	2回/年 1回/ 3ヶ月（勉強会）	・身体拘束をゼロにする為には、状況の把握及び勉強会研修
・ケア会議（ご家族参加）	随時	・個別の介護プランの見直し及び今後の介護方針の検討等
・給食会議・厨房会議	第1月曜/月	・行事食、業務改善、献立の検討、入居者の給食について等、委託業者も参加すると同時に厨房でのコミュニケーションを図っている
・栄養ケア会議	第1月曜/月	・入居者の健康状態、栄養状態のモニタリング、スクリーニングを行う
・看取り委員会	4回/年・随時	・看取りの入居者の状態把握、報告や看取りに対する検討、PDCAサイクルの検討等
・レクレーション委員会	1回/月	・毎月各種の行事計画及び行事開催、反省会等
・入居判定会議	1回/月・随時	・現状把握、入居者判定の検討等
・苦情処理委員会	随時	・苦情に対する確認、把握、検討等、再発防止の検討
・第三者委員会	2回/年・随時	・外部委員（評議員、監事、民生・児童員）への報告及び助言
・腰痛予防対策委員会/研修	2回/年	・腰痛対策、介護の手法の検討及び介護ロボットの検討等
・ミールラウンド (摂食維持管理)	1回/月	・誤嚥が認められる人、誤嚥の可能性の大きい人を対象に食事風景を他職種で見て回り、胃瘻、経管栄養になることなく、口から食べていただく検討をする
・入浴委員会　・排泄/褥瘡委員会　・口腔ケア委員会　・虐待防止/接遇委員会	1回/月の実施	

1. 施設事業運営

(1) サービス区分

① 特別養護老人ホーム

高齢により身体または精神上に著しい障害があり、常時介護が必要かつ居宅での介護が困難な方へ入所サービスを提供しました。

また、コロナ5類移行後となりましたが、新規入居者様の受け入れは、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、令和5年度も施設独自に抗原検査を実施した上で、安全にご入居いただきました。

また、特養並びにショートステイにおいて、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ感染症拡大防止対策として、陰圧装置を1日あたり16時間、365日稼働することにより、多種に渡る感染症拡大を阻止することができ、職員一丸となり大きな介護事故もなく質の高い介護ができました。

また、外部との接点として、地域包括及び各介護事業所との連携も多種感染症防止対策を施した上で、可能な範囲で連携推進を図りながら、新規入居者や利用者様が円滑にご利用いただけるよう協力いただきました。

最後に、社会福祉法人の公益的取り組みの実施や、地域福祉法人で構成する『勝央町福祉ネット金時』の連携により、地域の社会福祉に貢献できるよう活動しました。(内容は下記(10)の2、公益活動における地域貢献としてのとおり)そして、地域包括ケアの構築を目指して事業活動に取りみました。

1年間を通して特養入居の平均稼働率はコロナ5類移行後の中、96.5%の実績に終わりました。稼働率は前年度比102.8%の伸びとなり、介護報酬収入では前年度を上回ることができました。

② ショートステイ

ショートステイは、介護予防及び要介護認定を受けている在宅の高齢者に対し、家庭介護が困難な方を受入れ、介護者の負担軽減を図るといった在宅介護の本質的な役割を果たしました。

また、ロングショートステイの利用に加え、ユニット職員がこれまで蓄積した介護力を発揮し利用者様を選ばない幅の広い受け入れが実績に作用しております。

令和5年度ショートステイ利用の平均稼働率は、コロナ5類移行となりましたが、施設内において入居者様や職員にコロナ感染症が発生しました。感染拡大阻止のためにショートステイのサービスの休止を余儀なくされ、75%の利用実績となりました。

介護報酬収入では前年度とほぼ同様に実績を残すことが出来ましたが、稼働率では前年度比92.5%に終わりました。

新型コロナウイルスの抗原検査及び季節性インフルエンザ検査に関しては、令和5年度も特養のみならず、ショートステイでも新規利用者及びリピートによる定期利用につ

いても、利用時は毎回必須として検査を実施し、安心・安全を担保に利用いただきました。（ショートステイ利用時：令和5年度利用時抗原検査数696名／年）

コロナが5類に移行され、地域の社会福祉インフラとして「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」をモットーに感染防止対策が行き届いた、安心・安全な施設運営を行います。

（2）特養・ショートステイ利用者数

① 特別養護老人ホーム

定員50名 年間延べ利用者数 17, 697名（1日平均48.4名）
月間平均利用者数 1, 475名（月間平均稼働率96.5%）

② ショートステイ

定員10名 年間延べ利用者数 2, 746名
月間平均利用者数 229名（月間平均稼働率74.7%）

③ 入所者の状況

- 各月末入所者数の年間合計 594名（月平均49.50名）
- 各月末入院者数の年間合計 32名（月平均2.67名）
- 新規入所者数の年間合計 20名（月平均1.67名）
- 退所者数の年間合計 20名（月平均1.67名）

	月末入居者数	入院者数	新規入居者数	退去者数
4月	50	5	1	1
5月	50	5	1	1
6月	49	2	0	1
7月	49	2	3	3
8月	49	1	1	1
9月	50	1	3	2
10月	49	1	0	1
11月	49	3	2	2
12月	50	2	2	1
1月	49	3	3	4
2月	50	4	2	1
3月	50	3	2	2
合計	594人	32人	20人	20人

④ 特養・年齢別・性別の状況（下図一令和6年3月31日現在）

性別	年齢	65歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	計	平均年齢
		未満	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	上		
男性	0	0	1	2	5	1	3	1	13	84.7歳	
女性	0	0	0	1	2	5	17	12	37	93.0歳	
計	0人	0人	1人	3人	7人	12人	17人	10人	50人	87.3歳	

⑤ 令和5年度末 特養・要介護度別の状況（下図）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	0人	0人	0人	8人	21人	21人	50人

（3）利用者サービス

●健康管理

- ① 津山クリニック嘱託医とあかり双方の看護師が密に連携し健康管理の充実を図りました。また、インフルエンザワクチン接種やコロナワクチン接種6回目、7回目を希望される入居者様と職員の接種を完了しました。
- ② 協力歯科医師の往診、歯科医師と歯科衛生士による口腔ケア及び口腔ケア指導・研修に注力しました。長期的な効果として、引き続き誤嚥性肺炎のリスクが軽減されました。口腔ケアの充実は感染予防としての側面や効果に繋がる事を研修で習得し、新型コロナウイルス感染症予防策としても口腔ケアに注力しました。
- ③ 多職種連携での感染防止対策委員会の開催を重ね、感染症対策に注力した結果、令和5年度もコロナのみならず、インフルエンザ等を含めた全ての感染症について、常に感染予防策の周知徹底に努め施設入居者、利用者様の健康と生命を守る一方、職員の感染リスクを低減させるよう、全職員が力を合わせ、感染予防と手厚いケアの両立を協力しながら取り組みました。

（4）行事、レクリエーション、地域交流等、ボランティア行事

下記、全ての開催においては、コロナ及びインフルエンザの感染防止対策を講じながら実施し、対策を詳細に伝達しています。（但し、開催を中止する場合もありました。）

●年間定例行事（ボランティア行事含む）

- ・毎月定例－運営会議／2回、入居判定会議／1回、口腔ケア指導／4回、職員連絡会議、看取り委員会、事故防止委員会、安全対策委員会、給食会議／1回、理美容／1～2回、レク委員会／1回、嘱託医回診1回（50名）、石井会計月次会計報告実施／1回、等
- ・4月度－ レク行事「お花見弁当会／感染防止徹底により施設内各ユニットにおいて実施」開催、第1回あかり喫茶開催、岡山県議会議員不在者投票実施
- ・5月度－ 開設16周年記念お弁当、すみれ会環境整備、レク行事「春のドライブ実施（対象者、場所、手法は要相談の上、実施）」、監事監査、第1回理事会開催、第1回自衛消防避難・消火訓練及び災害避難訓練実施、消防設備点検実施、定期貯水槽清掃、北部訓練校実習生4名受け入れ実施、津山市会議員不在者投票実施、第2回あかり喫茶開催
- ・6月度－ レク行事「各ユニット運動会実施／感染防止徹底の上、実施」、第2回理事会開催、第1回評議員会実施、第1回消防設備定期点検実施、美作大学実習生2名受け入れ実施、第6回目春コロナワクチン接種希望者実施（入居者様・役職員）、大判焼きおやつ作り／委託業者、社会保険事務処理確認総合調査
- ・7月度－ レク行事「各ユニット七夕会／感染防止対策の上、実施」、定期水道水質検査
- ・8月度－ レク行事「各ユニット夏まつり／感染防止対策の上、開催」、第1、2回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施
- ・9月度－ レク行事「各ユニット敬老会及び表彰／感染防止対策の上、開催」、第3、4回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、敬老弁当、第1回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修、勝央町長選挙及び勝央町議会議員補欠選挙不在者投票実施、職員定期健康診断
- ・10月度－ レク行事「秋のドライブ感染防止対策の上、実施（対象者、場所、手法は要相談の上、実施）」、すみれ会、第5回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、第7回目秋コロナワクチン接種希望者実施（入居者様・役職員）、

おやつ喫茶/感染防止対策の上、各ユニット実施」、インフルエンザワクチン接種実施（入居者様・役職員）、美作県民局運営指導監査／介護保険

- ・ 1 1月度—レク行事「文化祭作品展示／各ユニット、園芸福祉（ボランティア）、北部訓練校実習生受入れ実施（2名）、第6、7、8回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、第1回第三者委員会開催
- ・ 1 2月度—レク行事「各ユニットクリスマス会～25日、感染防止対策の上、実施」、すみれ会、第2回自衛消防避難誘導消火訓練及び第1回災害（水害）垂直避難誘導訓練、勝央町民生児童委員協議会奉仕清掃活動、慰問、第9回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、すみれ会、施設構造点検
- ・ 1月度— 新年互例会開催、レク行事「新年会/感染防止対策の上、各ユニット実施」、令和5年度社会福祉法人等指導監査、
- ・ 2月度— レク行事「節分祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、消防立入検査、すみれ会、介護保険システム変更、エレベーター点検
- ・ 3月度— レク行事「ひな祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、第2回第三者委員会（書面報告）、第3回理事会開催、第2回評議員会開催、第2回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修

（5）職員待遇及び職員採用・退職の状況（令和6年3月31日現在）

●職員	●常勤数	●非常勤数
嘱託医（津山クリニック）	1名	1名
施設長	1名	
事務主任	1名	
介護・看護職長		1名
看護主任	1名	
看護師		4名
介護長	1名	
介護職員	24名（内介護福祉士21名）	10名（内介護福祉士4名） *認定特定行為業務従事者（第2号）7名／25名中
主任・介護支援専門員	1名	
生活相談員	2名	
管理栄養士	1名	

歯科衛生士		1名
宿直員		2名
運転員		2名
清掃員		2名
計	33名	23名

●下図一（令和4年度末から令和5年度末現在）

	施設長	事務員	生活 相談員	介護 支援 専門員	介護 職員	看護 職員	管理 栄養士	嘱託医	宿直他	合計
令和4年度職員数	1人	1人	2人	1人	34人	5人	1人	1人	6人	52人
採用	0	0	0	0	2	1	0	0	1	5人
退職	0	0	0	0	-3	0	0	0	-2	-6人
業務異動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
令和5年度末小計	1人	1人	2人	1人	33人	6人	1人	1人	5人	52人

●定年退職者 2名（令和5年度再雇用予定2名）

●実務者研修終了者 1名

●介護福祉士合格者 0名

●認定特定行為業務従事者（第2号）修了者 0名

●健康管理

年2回の健康診断の実施。津山クリニック医師、看護師による健康指導を行いました。

●労務管理

管理者、役職者による定期個別面談を行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

●職員外部研修及び会議等

（全国老人福祉協議会、全国経営者協議会、岡山県主催、岡山県社会福祉協議会、岡山県看護協会、岡山県介護福祉士会、岡山県ケアマネ協会、各市町村主催、他主催等）

当初に予定されていた研修は、令和5年度のコロナ5類移行後は、各機関開催の研修全般が会場参加型になりつつも、リモート研修も多数開催がありました。

また、感染防止の観点から研修の中止もありました。

対象職種	時期	場所	研修者	内容
施設長	R5.5.16	勝央町保健福祉センター	有田 卓司	勝央町福祉ネット金時総会
	R5.6.12	社福）桜楽会特養のどか		社会福祉法人桜楽会評議員会
	R5.6.14	岡山きらめきプラザ		岡山県老人福祉協議会第1回総会

	R5. 6. 16 R5. 7. 5 R5. 7. 7 R5. 8. 30 R5. 9. 5 R5. 9. 16 R5. 10. 17 R5. 10. 24 R5. 11. 15 R5. 11. 16 R5. 11. 17 R5. 11. 27 R5. 11. 30 R5. 12. 11 R5. 12. 19 R6. 1. 17 R6. 2. 14	岡山きらめきプラザ 勝央町立勝間田高等学校 勝央町文化センター 勝央町保健福祉センター 勝央町保健福祉センター 津山鶴山 特養あかり地域交流 特養あかり地域交流 勝央町保健福祉センター 岡山県立津山東高等学校 勝央町立勝央北小学校 美作保健所勝英出張所 勝央町保健福祉センター 特養あかり地域交流 津山市役所 勝央町立勝央北小学校 勝央町保健福祉センター		市町村域社会福祉法人ネットワーク 情報交換会 福祉体験出前講座（車椅子体験） 労働災害防止大会 勝央町福祉推進委員会 勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置訓練） 美作地区老人福祉施設長研修会 勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置訓練） BCP出張講座／津信 勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置講義） 医療機関施設説明会 福祉体験出前講座（高齢者体験） 感染症対策研修会 勝央町福祉推進委員会 勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置訓練） 岡山 DWAT 災害対策研修会 福祉体験出前講座（アイマスク体験） 勝央町保健福祉推進委員会
事務員 (主任)	R5. 7. 5 R5. 9. 8 R5. 11. 15 R5. 11. 17 R5. 11. 29 R6. 1. 17	勝央町立勝間田高等学校 あかり On-line 勝央町保健福祉センター 勝央町立勝央北小学校 勝央町保健福祉センター 勝央町立勝央北小学校	児島 明人	福祉体験出前講座（車椅子体験） 石井会計インボイスセミナー 勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置講義） 福祉体験出前講座（高齢者体験） 福祉体験出前講座（高齢者体験） 勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置訓練） 福祉体験出前講座（アイマスク体験）
介護支援 専門員 (主任)	R5. 6. 13 R5. 9. 12 R5. 10. 19 R5. 11. 18	岡山コンベックス 津山市役所 特養あかり地域交流 岡山コンベンション	佐藤 建子	介護サービス博覧会中四国 ケアマネ協会 BCP 策定研修会 ICT 事業所訪問ケアマネ研修会 第4回岡山県ケアマネ大会
	R5. 7. 5	勝央町立勝間田高等学校	赤堀 千春	福祉体験出前講座（車椅子体験）

生活相談員	R5. 7. 5	勝央町立勝間田高等学校	西本 弘樹	福祉体験出前講座（車椅子体験）
	R5. 12. 19	津山市役所	西本 弘樹	岡山 DWAT 災害対策研修会
	R5. 11. 15	勝央町保健福祉センター	西本 弘樹	勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置講義）
	R5. 11. 17	勝央町立勝央北小学校	西本 弘樹	福祉体験出前講座（高齢者体験）
	R5. 11. 29	勝央町保健福祉センター	西本 弘樹	勝央町福祉ネット金時役員会（災害ボランティア設置訓練）
	R6. 1. 17	勝央町立勝央北小学校	西本 弘樹	福祉体験出前講座（アイマスク体験）
	R6. 1. 18	津山市役所	赤堀 千春	津山市介護保険事業者連絡協議会研修
管理栄養士	R5. 8. 23	あかり On-line	佐野 治美	R5 年度給食施設従事者研修会
	R5. 10. 28	あかり On-line		県栄養士会（食事支援マネジメント）
介護士	R5. 7. 21	あかり 地域交流	藤原 朋美	介護福祉士実務者研修 第1回～第9回開催
	～12. 7迄			
	R5. 8. 1～ 8. 4迄	社福）特養天神荘／笠岡市	花房 国彦	ユニット・リーダー実地研修
	R5. 12. 19	津山市役所	坂手 大輔	ユニット・リーダー実地研修岡山 DWAT 災害対策研修会

●施設内職員研修(感染防止対策徹底の下、地域交流及び2階パブリックにおいて開催)

(但し、コロナ5類移行後も近隣の感染状況により研修の中止もありました。

- R5. 04.25 ・(外部) 第1回ユニ・チャーム（おむつ基本のあて方）
- R5. 04.26 ・(外部) 第2回ユニ・チャーム（おむつ基本のあて方）
- R5. 06.22 ・(外部) 第1回拘縮ケア・ポジショニング手法／安田理学療法士
- R5. 06.29 ・(外部) 第2回拘縮ケア・ポジショニング手法／安田理学療法士
- R5. 08.04 ・(外部) マットレス ZOOM 研修／モルテン
- R5. 11.08 ・(外部) 第1回ユニ・チャーム研修／拘縮ケア及びオムツ
- R5. 11.14 ・(外部) 第2回ユニ・チャーム研修／拘縮ケア及びオムツ
- R5. 12.14 ・(外部) 第1回事故防止職員研修会／(有)トータル
- R5. 12.20 ・(外部) 第2回事故防止職員研修会／(有)トータル
- R5. 12.26 ・(外部) 看取りケア研修／そよかぜ訪問看護ステーション代表
- R6. 02.29 ・(外部) 第1回ユニ・チャーム研修／腰痛予防
- R6. 03.07 ・(外部) 第2回ユニ・チャーム研修／腰痛予防
- R6. 03.12 ・(外部) 第1回口腔ケア指導職員研修／飯田歯科衛生士
- R6. 03.26 ・(外部) 第2回口腔ケア指導職員研修／飯田歯科衛生士
- R5. 06.07 ・第1回安全対策委員会研修／職員連絡会議
- R6. 03.18 ・第1回褥瘡指導職員研修／猪子看護主任

- R6. 03.28 ・第2回褥瘡指導職員研修（書面回覧）／猪子看護主任
- R6. 01.09 ・第2回身体拘束廃止委員会職員研修／講師 西本相談員
- R6. 01.10 ・第1回虐待防止委員会職員研修／講師 西本、赤堀相談員
- R6. 01.16 ・第2回虐待防止委員会職員研修／講師 西本、赤堀相談員
- R6. 02.07 ・第2回身体拘束廃止委員会職員研修／講師 西本相談員
- R6. 04.03 ・第2回安全対策委員会研修／職員連絡会議

(6) 施設管理（固定資産）

- ① 施設エアコン1階共用部系統（2エリア）圧縮機6台分ヒーター及びボウシカバーパーツを交換しました。
- ② 紫外線殺菌機（マルチライザー）を購入しました。
- ③ ポリシャー1台（CP-14型高速）、パット台15インチ1個、パット15インチ1枚を施設内に全床清掃として購入しました。
- ④ 看護室において使用する高圧蒸気滅菌器1台（ステリウイット）購入しました。

(7) 実習生受入れについて

岡山県立北部高等技術専門校 ケアサービス科の実習生（2回／年間受入れ）については1回目の5月には感染対策の上、4名の実習生を受入れ開催しました。また、11月にも感染対策の上、2名の実習生を受入れ開催しました。

また、美作大学生活科学部食物学科実習生（1回／年間受入れ）6月に感染対策の上、2名の実習生を受入れ開催しました。

(8) 2023年、夏のボランティア並びにインターシップ受入れについて 施設希望者はありませんでした。

(9) 研修機関取り組みとして

介護職員実務者研修終了課程取得に向けた、専門研修機関である倉敷市（株）ハートスイッチ様と提携し、あかりを県北部の研修会場として、コロナ感染症が5類へ移行されましたが、感染対策を行いながら、今年度も引き続き地域貢献として地域交流スペースを会場として提供しました。

今年度も内・外部の研修希望介護士が参加し、実務者研修を開催することができました。

(10) 公益活動における地域貢献として

1. 勝央町並びに社会福祉協議会と連携し、バス利用による勝央町民への買い物支援活動の実施に着手を立案し、5類移行後についても近隣等の感染状況を確認

しながらも感染の懸念は払拭できず中止としました。

2. 勝央町内にある5福祉法人で活動する「勝央町福祉ネット金時」の連携により、地域の社会福祉に貢献できる活動や多様なボランティア活動の実施により、地域包括ケアの構築を目指し、地域貢献活動を行いました。特に小学校での福祉体験出前講座の開催も増え、高齢者福祉の理解や高齢者の実情について訴求することができました。内容は下記とおりとなります。

令和5年度 勝央町福祉ネット金時事業報告

1. 会議の開催

事項	日程	場所	内容
総会	R5.5.16	福祉センター	R4年度事業報告、会計報告 R5年度事業計画、令和5年度予算案
役員会	R5.9.5	福祉センター	福祉体験出前講座について 災害ボランティアセンター設置訓練について
役員会	R5.10.17	あかり	福祉体験出前講座について 災害ボランティアセンター設置訓練について
役員会	R5.12.11	あかり	福祉体験出前講座について 災害ボランティア養成講座について

2. 事業の実施・参加

事項	日程	場所	内容	主催
市町村域社会福祉法人ネットワーク情報交換会	R5.6.16	岡山 きらめき プラザ	各NWの取り組 紹介など	岡山県社会福祉 協議会 35名参加
福祉体験出前講座	R5.7.5	勝間田 小学校	車椅子体験	勝間田小学校5年 勝央町社会福祉 協議会 80名参加
災害時のボランティア養成講座	R5.11.15	福祉 センター	災害ボランティア についての講義	勝央町社会福祉協 議会・勝央町福祉 ネット金時 47名
福祉体験出前講座	R5.11.17	勝央北 小学校	高齢者体験	勝間田小学校5年 勝央町社会福祉 協議会 30名参加
災害時のボランティア養成講座	R5.11.29	福祉 センター	災害ボランティア センター設置訓練	勝央町社会福祉協 議会・勝央町福祉 ネット金時 46名

福祉体験出前講座	R6.1.17	勝央北 小学校	アイマスク体験	勝央北小学校 4年、勝央町社会 福祉協議会 30名
福祉体験出前講座	R6.2.22	勝央北 小学校	車椅子体験	勝央北小学学校 5年、勝央町社会 福祉協議会 30名

令和5年度 事業報告書

津山クリニック

概要

平成30年のクリニック開設から6年が経過しました。公益事業として地域密着を掲げクリニックの運営を行ってきました。

令和2年の新型コロナウイルス初感染確認から4年、可能な限りの感染防止対策を行いながら、途切れる事のない安定した地域医療サービスを提供しております。

乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の患者様が利用されており、当クリニックの基本理念として掲げていた、地域のかかりつけ医としての「保健室」のような存在が具現化されてきたのではないかと考えています。

事業運営

① 新型コロナウイルス感染症等対策（5類移行後含む）

新型コロナウイルス感染症対策については、職員を含めた院内での検温実施を徹底し、発熱症状のある患者様の院外、車中での対応を実施することにより、一般患者様との接触を回避し感染拡大防止を行いました。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、今後有料となります。積極的に推進し、地域の感染予防、感染拡大防止に尽力していきます。

② リウマチ専門外来

特定日にリウマチ専門外来を新設しています。

リウマチに悩む患者様に寄り添い、高度かつ専門的な医療を提供する中、数多くの喜びの声が寄せられています。各医療機関からの紹介やクチコミを含め、リピーターを数多く揃えています。

③ 軽度認知障害検査（MCI）

健常者と認知症の中間段階である、軽度認知障害の検査促進を行いました。

軽度認知障害段階において、適切な予防や治療を行えば、認知症そのものの発症を遅らせる効果が期待できます。今後も注力し、その後の受診に繋げたいと考えております。

④他拠点との連携

社会福祉法人藤暢会の医療部門を担うクリニックとして、特養あかりの入居者様と職員、東和ほほえみ保育園の職員、その他関係者について、希望者全てにコロナワクチン及びインフルエンザワクチンの接種を実施、法人全体に貢献することが出来ました。

⑤研修

地域医療福祉の担い手として、自己研鑽を図り、高いレベルの医療サービスを行うための学会や、研修への参加を積極的に実施し、新しい知識の医療現場への還元に努めています。

1日あたりの来院患者数推移

患者数/1日あたり(人)

	前期実績	当期実績	増減	増減率
4月	128.6	115.6	-13.4	89.9%
5月	134.0	123.5	-10.6	92.1%
6月	138.0	122.8	-15.2	89.0%
7月	137.0	126.6	-10.4	92.4%
8月	128.0	133.2	5.2	104.0%
9月	138.8	136.5	-2.3	98.4%
10月	131.2	137.8	6.6	105.0%
11月	126.8	135.9	9.1	107.2%
12月	133.7	126.1	-7.6	94.3%
1月	119.7	138.6	18.9	115.8%
2月	136.2	132.2	-3.9	97.1%
3月	131.1	131.1	-4.1	97.0%
平均	141.6	131.9	-9.7	93.1%

今後のクリニック運営

新型コロナウイルスの5類移行後も、感染防止対策として、コロナワクチン接種のニーズは高いと考えられます。ワクチン接種機関として、地域貢献を果たしていく方針です。

コロナウイルス蔓延時期に導入した、Web問診システムを活用し、接触機会を減少させた感染防止対策や、メリットの高い診療方法の提供により、地域社会に寄り添った「保健室」として、安心、安全なクリニック運営を行っていきます。

令和5年度 事業報告書

東和ほほえみ保育園岡山

<概要>

企業主導型保育事業として、保育指針に則り、企業(東和薬品株式会社)の従業員の働きやすい職場環境づくりを支援するため、また、地域住民の子育てサポートを行うことを目的として保育事業に取り組みました。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上、第五類感染症に移行され、それに伴い感染症対策の実施については、個人・事業者の判断が基本となりました。当園としては、園内での感染拡大を防止するため、空気清浄機の使用や玩具、保育室の消毒などでの環境整備、園児とご家族、職員と同居家族の体調チェックカードを継続して実施。園児の発熱後24時間の自宅待機依頼と発熱時の受診協力依頼等も継続して実施しました。

行事も感染症対策を実施しながら、計画通り実施することができました。参加された保護者からは、事後のアンケートで「普段の園での様子が垣間見られて安心できた」というご意見をたくさんいただきました。保育園として、何を大切にし、どのような姿勢で保育を行っているかを、保護者の皆さんにお伝えするという行事の意義を改めて感じ、来年度の活動へつなげて参りたいと思います。

また、今年度より、保育園で年間安全計画を作成し、計画に沿って安全教育及び各活動を実施。その反省から計画の見直しを行うPDCAサイクルの実施が義務付けられました。職員だけではなく、保護者にも園の安全についてご理解いただけるよう、掲示やお便り等での説明機会をもちました。保育園の安全、安心な運営の為、この活動は、令和6年度も継続して行って参ります。

1. 施設運営方針

保育理念 「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」

保育方針 「一人ひとりの子どもの個性を大切にします」

「遊びを通して、基礎的な体づくりに取り組みます」

「家庭との連携を大切にし、子どもの成長を見守ります」

保育目標 「たくましい子」「素直な子」「思いやりのある子」「考える子」

2. 施設概要

事業内容	企業主導型保育事業
定員	30名 (企業枠は3名以上、地域枠は定員の50%まで受入れ可能)
受入れ年齢	0歳児(生後6か月)～5歳児
開園日数	週6日(日・祝日は休園、但し東和薬品(株)岡山工場開業日の祝日は開園)
開園時間	基本保育時間 7:30～18:30
提供サービス	延長保育(18:30～19:30) 体調不良児保育 一時預かり保育
その他	子育て相談等

3. 職員待遇

《常勤》

園長 1名 主任 1名 副主任 2名 保育士 6名
 看護師 1名 栄養士 1名 調理師 1名 連携推進員 1名 計14名

《非常勤》

調理師 1名 計1名

4. 園児数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数(名)	20	20	20	20	20	20
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数(名)	23	23	24	24	25	25

《年齢・クラスの内訳》

クラス名	年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ぱんだ組	3歳児(名)	2	2	2	2	2	2
うさぎ組	2歳児(名)	8	8	8	8	8	8
りす組	1歳児(名)	9	9	9	9	9	9
ひよこ組	0歳児(名)	1	1	1	1	1	1
合計(名)		20	20	20	20	20	20

クラス名	年 齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぱんだ組	3歳児（名）	2	2	2	2	2	2
うさぎ組	2歳児（名）	8	8	8	8	8	8
りす組	1歳児（名）	10	9	9	9	9	9
ひよこ組	0歳児（名）	3	4	5	5	6	6
合 計（名）		23	23	24	24	25	25

5. 年間行事

月 日	行 事 内 容	参 加 人 数
4月1日（土）	入園進級式	親子17組、職員14名
6月22日（木）	園児歯科検診	園児20名
6月30日（金）	不審者対応訓練 (美作警察署職員立会)	園児19名、職員13名
7月8日（土）	七夕まつり	親子18組、職員10名
6月1日（水） ～9月22日（金）	水遊び・感覚遊び	全園児対象（各クラスで）
9月25日（月）	園児内科検診	園児18名（欠席者は後日受診）
10月4日（木）	消防署職員立会避難訓練 (通報訓練、消火訓練)	園児19名、職員14名
10月21日（土）	親子ふれあいデー	親子18組、職員12名
11月8日（水）	ポニーとのふれあい体験	園児21名、職員11名
12月22日（金）	クリスマス会	在園児21名（各クラスで）
1月12日（金）	とんど	各クラス時間差で参加 園児21名、職員11名
1月31日（水）	不審者対応訓練 SECOM職員立会	園児23名、職員13名
2月2日（金）	節分	園児22名（各クラスで） 職員10名
3月4日（金）	ひなまつり	園児22名（各クラスで） 職員9名
3月18日（月）	園児内科検診	在園児23名・新入園児3名 欠席の在園児2名は後日受診

※その他 毎月実施：誕生日会、身体測定、避難訓練

6. 給食

園児の活動の源である給食は、栄養士が作成した献立を基に、食材はできるだけ国産の材料を使用し、旬のものを取り入れながら、園内調理で主食・汁物・主菜・副菜を揃えた給食を実施しています。

好き嫌いがあっても一口から食べられるように、調理方法にも工夫を凝らしています。

■ 食育活動

毎月19日を「食育の日」とし、親子で食べ物について話せる機会にできればと、旬の食材を使用した給食を提供。保護者には給食展示と共に掲示で旬の食材の栄養や調理方法について紹介しました。

■ 離乳食への対応

後期食、移行食に分けて、毎月1回面談を行いながら保護者と連携をとりつつ個々の発達状況に合わせた離乳食を提供しました。

■ 食物アレルギー児への対応

食物アレルギーのあるお子さまは、医師の診断書・指示書に基づき、保護者と面談を実施した上で、除去食を提供しました。今年度は卵3名、バナナ1名の合計4名に対応しました。

■ 衛生管理

集団給食施設届出を美作保健所に提出しています。
また、連携推進員以外の職員は毎月検便を行っています。特に、10月～3月の感染症流行期にはノロウイルスの検便も追加して実施しています。

7. 体調不良児保育

看護師1名を配置し、園児が保育中に熱を出すなどの体調不良となった場合、保護者のお迎えまで医務室または職員室にて保育をしました。

新型コロナウイルス感染症5類移行前は、37.5℃以上の発熱が認められた場合は、なるべく保護者にお迎えをお願いしましたが、移行後は、園児の体調を見ながら、感染予防対策をとり、体調不良児保育を実施しました。

《令和5年度 月別の利用者数》 ※ 年間の利用者数 合計181名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	12名	17名	13名	13名	10名	12名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	14名	13名	15名	16名	23名	23名

8. 延長保育

保護者就労時間の長時間化により、毎月数名の延長保育利用がありました。

《令和5年度 月別のべ利用者数》 ※ 年間のべ利用者数 合計38名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	3名	1名	1名	2名	0名	2名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	1名	0名	1名	4名	9名	14名

9. 一時預かり保育

今年度は、4月に園児数20名でスタートし、空き保育室がない状態でしたので一時預かり保育は実施せず、東和薬品株式会社祝日開園日の東和社員のお子様の保育と、退園児の退園後の保育に限り、実施しました。

※ 利用登録者数：家庭数2／子ども 3名

《令和5年度 月別のべ利用者数》 ※ 年間のべ利用者数 合計 3名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	3名	0名	0名	0名	0名	0名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	0名	0名	0名	0名	0名	0名

10. 子育て相談

今年度は、アレルギーや急な体調不良で特別に配慮が必要になった園児があり、

保護者とゆっくり話す時間を設け、情報を共有することで、保護者が安心して預けられるように、また、安心して保育ができるように、子育て相談を行いました。

実施回数：在園児保護者5名（のべ5回）

場 所：職員室

内 容：「入院時の状況とその後の対応について」

「食物アレルギーの対応について」

「子どもへの対応について」

11. 職員研修

保育分野、調理分野共に専門職としての自己研鑽に努める為、毎月1回の職員会議を行い、保育実践の振り返りと評価を行い、保育の質の向上と職員全体の共通理解や意識の統一を図りました。

【研修】

月 日	研 修 内 容	主 催	参 加 者
6/3 (土)	普通救命講習 I 講師：津山圏域消防組合東消防署職員	園内研修	14名
6/22 (木)	就学前施設の事故防止・リスクマネジメント 講師：あいおいニッセイ同和損害保険（株） マーケット開発部 市場開発室室長 福祉リスクマネジメント企画担当 堀江 健	あいおいニッセイ 同和損保	1名
7/8 (土)	健康咀嚼指導士フォローアップセミナー 講師：松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔 機能管理学分野 教授)	特定非営利活動法人 日本咀嚼学会	1名
8/2 (水) ~ 3 (木)	甲種防火管理新規講習 講師：真鍋 亮・小川 弘晃・田口 清之・ 田中 謙吉	日本防火・防災協会	1名
8/11 (金)	Gakken 夏の講習会 ケロポンズ 講師：ケロポンズ	Gakken	1名
8/23 (水) ~ 24 (木)	次世代園経営者セミナー	ジャクエツ	1名
8/1 (火) ~ 10/31 (火)	企業主導型保育事業 保育安全研修	公益財団法人 児童育成協会	1名
9/1 (金) ~ 10/2 (月)	キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応） 講師：堤 ちはる (相模女子大学栄養科学部健康栄養学科) 長谷川 美穂 (昭和大学医学部小児科学講座) 小児アレルギーエデュケーター管理栄養士	公益財団法人 児童育成協会	1名
10/10 (火)	給食施設研修会 講師：美作保健所衛生課職員	岡山県美作保健所・ 勝英支所	2名
10/12 (木) ~ 10/13 (金)	甲種防火管理新規講習	日本防火・防災協会	1名

11/10（金）～ 11/13（月）	言葉遣いテスト	園内研修	14名
12/11（月） 12/25（月）	児童虐待防止研修会 講師：岡山県津山児童相談所 児童福祉司 染川 智	勝央町健康福祉部	4名
12/19（火）	キャリアアップ研修（マネジメント）	公益財団法人 児童育成協会	2名
10/2（月）～ 1/31（水）	令和5年度 企業主導型保育事業 施設長等研修	公益財団法人 児童育成協会	1名
2/21（水）	企業主導型保育事業 次世代リーダー研修	公益財団法人 児童育成協会	1名
3/30（土）	保育安全研修	園内研修	12名

1.2. 委員会活動

令和3年度に始めた2つの委員会活動を継続して実施しました。安心・安全な保育を目指して職員間で協議し、園内の意思統一を深めることに尽力しました。

①安全対策委員会

1か月間のヒヤリハットを検討し、事故防止に向けてのルール作りや環境改善を行い職員会議にて全職員に周知徹底を行いました。

回	日付	主な内容
第1回	2023年 5月18日（木）	食物アレルギー児について
第2回	6月16日（金）	誤嚥・窒息防止について 来客対応マニュアルについて
第3回	5月27日（木）	「食べるときのお約束」について 誤嚥・窒息につながりやすい食べ物について 給食除去解除について
第4回	9月28日（木）	登降園時の駐車場の危険について
第5回	11月15日（水）	アレルギーマニュアルの見直しについて 園外保育に行く際のマニュアル見直しについて
第6回	2024年 1月11日（水）	アレルギー個人マニュアルについて 散歩時の園外保育の役割分担と園外保育記録簿について

第7回	2月2日（金）	園外保育役割分担表と記録表について 不審者対応訓練の反省とマニュアル改定について
-----	---------	---

② 感染症対策委員会

赤木看護師を中心に、園内の感染症対策について検討し、ルールや環境改善を全職員に周知徹底して、園内の感染症予防に努めました。

回	日付	主な内容
第1回	2023年 5月11日（木）	感染性胃腸炎罹患児の対応について 新型コロナウイルス感染症対応について
第2回	6月2日（金）	園児発熱時の対応について 麻疹・風疹について
第3回	7月14日（金）	職員のマスク着用について 新型コロナウイルス罹患時の対応と抗原検査について 職員の体調不良時の対応について
第4回	11月8日（水）	保育所等におけるインフルエンザに係る治癒証明書について 岡山県感染症情報について 「保育所における感染症対策ガイドライン」の一部修正について
第5回	2024年 2月6日（火）	嘔吐処理について 職員本人、同居の家族感染性胃腸炎に感染した場合の対応について 新型コロナウイルス関連変更事項について
第6回	3月27日（水）	発熱時の対応について 体調不良時保育について